# ［　大佛次郎記念館　］
# 令和元年度業務報告及び収支決算
# ［　公益財団法人横浜市芸術文化振興財団　］

※　文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業を示します。
※　文中の達成指標、達成状況欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標を示します。

1　施設の概要

| | |
|---|---|
| 施　設　名 | 大佛次郎記念館 |
| 所　在　地 | 横浜市中区山手町 113 番地　港の見える丘公園内 |
| 構造・規模 | 鉄筋コンクリート造　地上２階　地下２階建 |
| 敷地・延床面積 | 建築面積 593.13㎡　延床面積 1,166.30㎡ |
| 開　館　日 | 昭和53年５月１日 |

2　指定管理者

| | |
|---|---|
| 団　体　名 | 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 |
| 所　在　地 | 横浜市中区山下町２番地 |
| 代　表　者 | 理事長　近藤　誠一 |
| 代表者設立年月日 | 平成３年７月 10 日 |
| 指 定 期 間 | 平成 28 年４月１日から令和３年３月 31 日まで５年間 |

3　指定管理に係る業務方針

(1)基本的な方針の総括

日本を代表する知識人であり作家である大佛次郎の記念館として、資料の適切な収集・保管、公開、活用を通じ、作家と作品について後世に伝えていくというミッションに取り組みました。

令和元年度は３つのテーマ展を中心に事業を展開し、また予算・人的資源の制約の中で、効果的な連携・協力を作ることを意識して行いました。また施設・設備の劣化に対し横浜市負担による大型工事２件のほか、業務効率化を目指した事務室改修を行い、環境を整えました。

指定管理第１期の最終年となる次年度も引きつづき「新しい文学館像」にアプローチし、基本方針に沿った施設の運営を行います。

(2)元年度の業務の方針及び達成目標の総括

指定管理期間の４年目の年にあたり、これまでの振り返りを活かして指定管理提案書に掲げた目標達成に向けて引き続き取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府および横浜市の方針を受け２月 29 日から５月６日まで貸館を含めた臨時休館となっており、入館者数、収支

に大きな影響が出ています。

【文化事業について】

大佛次郎の人物や作品の魅力を後世に伝えるというミッションに対し、展示を中心に様々な角度から取り組みました。

テーマ展示Ⅰ「大和和紀『ヨコハマ物語』×大佛次郎の横濱」では、新しいメディアである漫画作品と大佛次郎作品をクロスオーバーさせ、全国から幅広い年代の来館者があり、発信性のある事業となりました。また初めて文化庁芸術文化振興基金の助成金を得て、展示だけでなく講演会、WEB広告、フォトスポットの設置など事業を充実させることができました。

テーマ展示Ⅱ「花と語らう　大佛次郎の花ごよみ」では、大佛作品の魅力をより多くの人に紹介し、誰もが楽しめる展示への試みとして「五感で感じる」をコンセプトの一つとしました。視覚＝展示に加え、聴覚＝朗読、嗅覚・触覚＝モイストポプリワークショップ、味覚＝フラワーソーダなどの形で展開し、視覚情報が優先になりがちな文学館展示に新しい要素を持たせました。

テーマ展示Ⅲ「誕生！鞍馬天狗　みんなの HERO ができるまで」では、約４年ぶりに大佛次郎の代表作である「鞍馬天狗」を取り上げましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため会期途中で臨時休館となっています。

出版の状況が難しいなか、継続的な働きかけが実り、大佛次郎の未刊行日記の出版に向け具体的に動き始めました。

【地域との連携について】

地域の教育機関や企業・周辺施設と継続的な連携の構築を進めました。

テーマ展示Ⅰにおいて元町商店街を中心に店舗・レストランなど７店にポスター掲示ができたこと、また「横浜港とお茶の歴史講座」やドレス展示・着物展示を地元企業の協力のもと開催しました。

ミニ・ビブリオバトルでは、従来から強いつながりあのある中区北方小学校に加え、元街小・大鳥小でデモンストレーションが実施したほか、地道な広報が実り応募小学校数が９校に増えました。昨年度に引き続き２度目となるクリスマス茶会では、青山学院横浜英和中学高等学校茶道部の協力および地元企業２社のイベント協賛により、効率的・効果的な開催ができました。

「港の見える丘公園」という観光立地を生かし、周辺の西洋館イベントと合わせた催事の実施、岩崎ミュージアムとの入館料相互割引を実施したほか、花をテーマにした展示では公園管理者とも新しい関係を構築することができました。

【運営について】

新型コロナウイルスにより２月 29 日から５月６日まで臨時休館となり、来館者数・収支に大きな影響が出ています。テーマ展示Ⅲ、「大佛次郎×ねこ写真展 2020」のほか、関連イベント、春の和室公開の中止、施設貸出が不能になりました。施設利用者数を含めた来館者数は 25,593 人と前年度比 3,534 人減となっています。

WEB を活用した広報に引き続き積極的に取り組み、Twitter フォロワー数が順調に伸びました。施設利用については、コンスタントに着物の撮影利用があったほか、大手袴レンタル会社の卒業式用袴カタログ撮影があり、今後、施設の周知が期待できます。

【管理について】

開館から 40 年以上が経ち、経年劣化への目配りと対応が常に必要な状況にあります。元年度は懸案であった和室の聚楽壁補修・外壁漏水工事および２Ｆ屋上漏水工事が横浜市により実施され、貴重

| |
|---|
| 資料の展示環境と貸出施設の美観が担保されました。 |

4　事業の取組についての達成状況

（1）　文化事業について

ア　作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ・資料収集 | | |
| ●大佛次郎関連資料の寄贈を随時受け付けるとともに、情報収集に努め、適切な収集を行います。 | ■おさらぎ選書「資料収集」欄への掲載 | ■30 年度寄贈資料 19 点について「おさらぎ選書」第 27 集の「収集資料」欄に掲載しました。<br>□元年度　資料受け入れ　3 点<br>□元年度　資料購入（原稿）　1 点 |
| ・資料保存 | | |
| ●貴重な資料の管理や保護に注力し、自筆原稿等特に貴重な資料の管理に細心の注意を払います。所蔵資料を後世に継承するため、資料の劣化を防ぎ良好な状態を保ちます。<br>温湿度管理の徹底と中性紙箱に収める等の方法で資料の保全を行います。 | □毎日 2 回の点検、記録、調整の実施<br>■特別書庫内使用の出入庫表への記録<br>□IPM に則った防虫防黴対策の実施（地下書庫の清掃と処置作業：年２回）<br>□月１回の資料整理<br>■必要な資料の修復 | □開館・閉館時に点検、記録、調整を実施<br>■特別書庫内使用の出入庫表への記録の実施<br>■IPM（総合的有害生物管理）について、研修で得た知識を生かして環境整備に取り組みました。<br>□専門業者よる書庫内防塵防黴作業　2 回、職員による同作業　1 回　実施<br>□月１回の資料整理　実施<br>■長谷川路可作の日本画「虹(夏)」修復を行いました。<br>■業務委託契約（１名）より新たに資料整理を実施しました。 |
| ●専門的な観点から収蔵資料の整理を行い、収蔵品展等に活用します。 | | |
| ・展示公開 | ■年間を通じて順次展示替えを実施 | □収蔵品展示<br>テーマ展示Ｉの期間は「大佛次郎と横濱」として開化小説を中心に企画展示を行い、９月以降は「大佛次郎-人と作品-」と題して、作家の生涯をたどる構成に加え、１月には大佛次郎賞受賞作に合わせた「鶴見俊輔コーナー」および大佛次郎研究の第一人者であった「福島行一コーナー」を新たに設けました。 |
| ●常設展(収蔵品展)<br>「大佛次郎の生涯と作品」にスポットを当てた展示を展示室で実施します。 | ■年３回の企画展に合わせて内容の見直し | |
| ●愛蔵品展示コーナー | □年１回の展示替の実施 | □愛蔵品展示コーナー |

| | | |
|---|---|---|
| | | 展示替　１回・4/23 から通年実施<br>大佛次郎夫妻と親交があった画家・佐藤敬にスポットをあて「大佛次郎とパリの画家・佐藤敬の交友―日本とフランスの間で」と題し、書簡・写真・絵画で紹介しました。 |
| ●１階ロビー展示<br>年表パネル・写真パネルの展示 | ■展示替の実施：随時 | ■テーマ展示Ⅱ「花と語らう　大佛次郎の花ごよみ」開催期間中、ロビーに大佛次郎と花々の写真を展示しました。 |
| ・展示以外の資料公開<br>●閲覧室での図書の閲覧 | ■閲覧室での図書の閲覧を実施します | ■図書閲覧を実施しました。<br>■閲覧室で元号が変わるのに合わせ出典である「万葉集」の展示また漫画家・大和和紀サイン本を展示するなど資料を活用しました。 |
| ●「おさらぎ選書」に収蔵資料の一部内容を掲載 | ■「おさらぎ選書」に収蔵資料の一部内容を掲載します | ■11 月発行の「おさらぎ選書」第 27 集で「帰郷」翻刻ノートを掲載しました。 |
| ●収蔵資料のデータベース化を進め、ホームページ上で公表します。<br>●的確なレファレンスサービスを提供します。 | □ホームページ上で新規に公開するデータ数：SP レコード 100 点以上<br>□レファレンスサービス件数：年間50回以上 | ■SP レコードのデータに替え、前年度から行っている大佛次郎の自著についてのデータ登録作業をさらに進め、昭和 49 年から令和元年までの刊行分全データの登録を終えホームページに公開しました。<br>□新規データ登録数　988 件<br>□自著データ登録数　2,919 件<br><br>□年間レファレンス件数：69 件<br>海外からの来館者を含め、幅広い層からの照会に対応し、情報の発信に努めました。<br>■ニューヨーク・メトロポリタン美術館「The Tale Of Genji」展に所蔵品である「浮舟」を貸出し、同展示カタログにも掲載されました。<br>■弘前市立郷土文学館・鎌倉文学館に収蔵資料の貸出を行いました。 |

イ　作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
| --- | --- | --- |
| ・大佛次郎の作品等に関する調査研究成果を展示、出版、講座・講演等により、社会へ還元します。 | | |
| ●テーマ展示の実施<br><br>・テーマ（企画）展示<br>（関連講演・講座等の開催、財団運営施設等の主催講座への出張含む） | □テーマ展示の実施：３回<br>□観覧者目標　17,300 人<br>（H27 実績 14,904 人<br>H28 実績 20,563 人<br>H29 実績 22,771 人<br>H30 年度実績　26,258 人） | □テーマ展示の実施：３回<br>□テーマ展示Ⅰ～Ⅲ展示観覧者数：<br>21,083 人（昨年度比 5,175 人減）<br>※コロナウイルス感染症拡大防止のため３月休館 |
| ●テーマ展示Ⅰ「大和和紀『ヨコハマ物語』×大佛次郎の横濱」<br>・横浜開港 160 周年を記念し、開館以来はじめてとなる現役作家を取り上げ、開化期「ヨコハマ」の時代性の再現を試みます。<br>・ターゲット<br>大和和紀ファン・大佛次郎の愛読者、歴史に興味のある方、年代も幅広くターゲットとする。<br>・期間：４月３日（水）～９月８日（日）<br>開催期間 135 日 | □観覧者目標数：7,000 人<br>■展示解説：各月第２土曜日<br>■フォトスポットの設置<br>□着物ドレスとの連携イベント：１回<br>□横浜開港 160 周年開港記念日イベント：１回 | ■テーマ展示Ⅰ「大和和紀『ヨコハマ物語』×大佛次郎の横濱」<br>４月３日（水）～９月８日（日）<br>開催期間 135 日<br>□観覧者数：11,833 人<br>■大佛次郎の開化小説と、大和和紀の少女漫画『ヨコハマ物語』を展示でクロスオーバーさせ、小説と漫画という異なる手法から開港期ヨコハマの歴史や魅力に迫りました。<br>■横浜市中央図書館での出張展示<br>４月 16 日～６月 18 日<br>□「横浜港とお茶の歴史＆美味しいお茶の淹れ方講座」　協力：栗田園<br>５月６日（月・祝）①11:00～②13:30～<br>①18 名②17 名、合計 35 名<br>■レース半襟きもの展示　協力：新日屋<br>５月 24 日（金）～６月２日（日）<br>■着物バッスルドレス展示　協力：クラシカルプリンセスジャポン<br>４月 27 日（土）～５月６日（月・祝） |

| | | |
|---|---|---|
| | | ■クリアファイル付入館券の販売 500 円<br>□オリジナルグッズの作成　クリアファイル２種、ノベルティとしてポストカード１種<br>■フォトスポットとして『ヨコハマ物語』特大パネル２枚設置<br>■大和和紀スペシャルトークショー<br>８月５日開催　定員 40 名（50 名来館）<br>漫画家・大和和紀さんにヨコハマ物語の創作秘話を聞くスペシャルトークショーを開催しました。<br>■文化庁芸術文化振興基金助成金獲得<br>□展示解説　9 回　84 人<br>□建物ミニ・ミニ・トーク　5 回　34 人<br>■Facebook を利用した WEB 広告の実施 |
| ●テーマ展示Ⅱ<br>「花と語らう　大佛次郎の花ごよみ」<br>・草花を愛でた大佛次郎の日常を『終戦日記』やエッセイから再現することで、「ちいさきもの」に向けた大佛の視点や生き方を紹介します。<br>・ターゲット：園芸ファン、中高年層、観光客などあらゆる層<br>・期間：９月 14 日（土）～12 月 24 日（火） | □観覧者目標数：5,400 人<br>■「横浜音祭り」との連携<br>■展示解説：各月第２土曜日に実施<br>■YouTube を利用した音声ガイドの導入<br>□ブックレットの作成：１冊<br>□ウォーキングイベントの実施：１回 | ■テーマ展示Ⅱ<br>「花と語らう　大佛次郎の花ごよみ」<br>・期間：９月 14 日（土）～12 月 24 日（火）<br>□観覧者数：7,647 人<br>■「古くからの友人」「伴侶」に例えられる大佛の草花への愛情を数々のエッセイや、「風船」「櫻子」といった小説から抽出し、そこに込められた大佛次郎の思いを探りました。「五感で楽しむ」をコンセプトに、視覚以外で大佛文学を感じる仕掛けを用意し、関連イベントとして実施しました。<br>□展示解説　5 回　48 人<br>□建物ミニ・ミニ・トーク　6 回　47 人<br>■ＱＲコードを読み込むと YouTube にリンクし、「大佛五郎」氏による展示エッセイの朗読が聞ける仕組みを、６か所で実施しました。<br>■横浜市緑政局・サカタのタネグリーンサービスの協力により、記念館エントランスに花の寄せ植えを置き公園との一体感を醸成し来館を促しました。<br>■大佛次郎の花にまつわる随筆から６編を |

| | | |
|---|---|---|
| | | 選びブックレット４「花と語らう」を作成し、販売を開始しました。<br>□モイストポプリワークショップ開催<br>10 月５日(日)　無料・参加８人<br>10 月５日～９日　会議室でポプリ展示<br>■アンケート回答者には抽選で花の種をプレゼントし､アンケートの回収率が 5.7%アップしました。<br>■期間限定でティールーム霧笛との「花」にちなんだコラボレーションメニューであるソーダ３種を提供いただくよう働きかけました。<br>■関連事業「文学ウォーキング」<br>11 月４日（月・休)）<br>秋の花園ツアーと題し、港の見える丘公園から山下公園まで園芸のプロによる草花の解説と大佛作品ゆかりの地、山手の史跡を絡めたウォーキングを実施しました。<br>□参加 18 人（応募 20 人） |
| ●テーマ展示Ⅲ<br>「大佛次郎の少年少女小説（仮)」<br>・大佛次郎の作品の中から、『スイッチョねこ』をはじめとする童話や、学生向けの雑誌に寄せた小説を通して、大佛次郎が子どもたちに伝えたかったメッセージを探ります。<br>・ターゲット:家族連れ、日本文学愛好者、児童文学愛好者<br>・期間：１月～３月（未定） | □観覧目標数：4,900 人<br>■展示解説：各月第２土曜日に実施<br>□ブックレットの作成：１冊 | ■テーマ展示Ⅲ「誕生！鞍馬天狗　みんなの HERO ができるまで」(展示テーマ変更)<br>・期間：１月４日（土）～４月 19 日（日）<br>※コロナウイルス感染症拡大防止のため２月 29 日（土）から５月６日（水）まで休館<br>□観覧者数：1,603 人（２月まで）<br>■大佛次郎原作の鞍馬天狗全 47 作のうち、愛されるきっかけとなった 11 作目「角兵衛獅子」までにスポットを当てた展示。鞍馬天狗の誕生から、当初は腕の立つ勤王の志士にすぎなかった鞍馬天狗が、作者のみならず編集者・挿絵画家・読者たちを巻き込みながら HERO へと変貌していく軌跡を追いました。<br>□展示解説　2 回　13 人<br>□建物ミニ・ミニ・トーク　2 回　4 人 |

| | | |
|---|---|---|
| | | □関連イベント「懐かしの紙芝居『北海狼』ほか」　２回上演　（中止）<br>３月 28 日（土）①11：30-②13：30-<br>（ブックレットの作成の代替え企画）<br>※コロナウイルス感染症拡大防止のため中止<br>■無声映画「鞍馬天狗」を２階サロンで上映しました。 |
| ●おさらぎ選書の発行<br>「おさらぎ選書」第 27 集を発行します。<br>また、2020 年度の第 28 集発行に向けて編集・執筆及び執筆依頼を行います。 | ■「おさらぎ選書」第 27 集では、「大佛次郎『帰郷』出版 70 年」と題し、論文「『毎日新聞』のなかの『帰郷』」（仮）等を掲載します。<br>発行予定年月：平成 31 年 11 月 | ■「おさらぎ選書」第 27 集<br>令和元年 11 月 30 日発行<br>■「大佛次郎『帰郷』出版 70 年」と題し、「帰郷」創作ノート翻刻のほか、寄稿「毎日新聞のなかの『帰郷』」等を掲載しました。<br>■２年度の第 28 集発行に向け、「《大佛次郎》のはじまり」をテーマに研究者２名に執筆依頼と監修依頼を行いました。 |
| ●所蔵資料を用いた書籍・論文等の活用<br>（書籍の閲覧室での公開、受付での販売の実施） | ■平成 29 年度制作のミニ冊子「鎌倉通信」、平成 30 年度制作のブックレット「I love スポーツ。」、「生地のままに」を引き続き販売します。 | ■ブックレットとして「鎌倉通信」「I Love スポーツ。スポーツエッセイ集」「講演録 生地のままに」に続き、テーマ展示Ⅱの合わせ「花と語らう」を制作し販売しています。 |
| ・情報の集積と発信<br>●一般紙誌の掲載につながる話題を積極的にリリース（新収蔵、初公開などの情報を発信） | □テーマ展を中心に記者発表を実施：年３回以上<br>□財団発信のＰＲ　ＴＩＭＥＳを活用し、ウェブでの掲載機会を増やします。発信回数：年５回以上 | □記者発表：９回<br>□ＰＲ　ＴＩＭＥＳでの発信：９回 |
| ●ウェブ紹介による来館の動機づけ | ■Twitter、Facebook を使った積極的なＳＮＳ発信を行います。 | ■テーマ展示Ｉのフォトスポットの様子や施設利用、公園の花の様子など幅広く Twitter で紹介しました。<br>■テーマ展示Ｉでの Facebook を利用した WEB 広告の実施（再掲） |
| ●ホームページの充実 | □公式ホームページ情報更 | |

| | | |
|---|---|---|
| や、ブログやＳＮＳを用いたタイムリーな発信 | 新回数：月３回以上<br>□公式ブログ更新回数：月５回<br>□Twitter、Facebook での発信回数：毎月５回<br>□メールニュースの発信：年５回以上<br>■季節のイベントや花の情報など「港の見える丘公園」の話題や、周辺施設行事、公園内のウェディング撮影等の話題を積極的に取り上げます。 | □公式ホームページ更新回数 59 回（月平均 4.9 回）<br>□ブログ更新回数　年間 83 回、月平均 6.9 回<br>□Twitter 発信回数 529 回、月平均 44.1 回、フォロワー数 321 人、前年度比 133 人増フォロワー数が年度当初の 171％増となりました。<br>□Facebook 更新回数　年間 83 回、月平均 6.9 回<br>□メールマガジン発行回数：６回、配信数は年度末で 141 人です。 |

ウ　各種文化的行事の実施

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ・各種文化的行事の実施<br>各種文化的行事を実施し、大佛次郎及び作品の普及啓発を行います。 | | |
| ●大佛文学をテーマにしたウォーキングイベント　テーマⅡ関連事業：「大佛次郎花物語」をテーマにした内容で実施 | □大佛次郎記念館発ウォーキング　開催数：年１回<br>□参加者数：24 人 | ■テーマ展示Ⅱ開催期間中の関連イベント「文学ウォーキング」開催（再掲）<br>花と語らう、秋の花園ツアー<br>11 月４日（月・休）9：00-12：30<br>■港の見える丘公園の秋の花々について公園スタッフから説明を受けたあと、大佛作品ゆかりの場所や周辺の史跡をたどるウォーキングツアーを実施しました。秋晴れの下、花にまつわるレクチャーと魅力あるコース設定に、参加者の 88.9％が回答したアンケートでは平均評点が 4.81 という充実した催しとなりました。<br>□参加者 18 人（定員 20 名、応募 20 人） |
| ●「大佛次郎賞受賞記念講演会」<br>朝日新聞社との共同主催 | □大佛次郎賞受賞記念講演会　年１回　場所:横浜市開港記念会館<br>□参加者数：240 人 | ○第 45 回大佛次郎賞受賞作「極夜行」角幡唯介氏講演会<br>令和元年６月 29 日（土）開催<br>□参加者数：303 人（券売数 297 人） |

| | | |
|---|---|---|
| ・時期　平成 32 年３月予定 | | ○第 46 回大佛次郎賞受賞作「鶴見俊輔伝」黒川創氏講演会<br>コロナウイルス感染症拡大防止のため令和２年８月 30 日（土）に延期 |
| ●大佛次郎研究会公開発表会 | ■大佛次郎研究会に対し「覚書」に則り会議室の利用、選書への論文掲載等の便宜を図ります。<br>■年２回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援します。 | ○大佛次郎研究会公開発表会<br>５月 25 日(土)、神奈川近代文学館２Ｆホール　入場者数　86 人<br>11 月 30 日（土）神奈川近代文学館中会議室　入場者数　40 名<br>■記念館会議室の優先予約や広報物の作成代行・配布、当日資料作成補助および当日運営補助により同会の活動を支援しました。 |
| ・施設及び山手エリアの活性化 | | |
| ●和室公開<br>春の桜、晩秋の紅葉の時期に貸館としての利用が入っていない日に限って、和室を公開し、来館者に窓から眺められる景色を楽しんでいただきます。大佛もしくは記念館の魅力が伝わる展示等を行い、部屋の魅力をアピールします。<br>・春：平成 31 年３月下旬-４月上旬（予定）のうち、貸館での施設利用のない日<br>・秋：11 月下旬-12 月上旬（予定)のうち、貸館での施設利用の無い日 | □実施回数　年２回<br>■貸館利用率向上につながるように、和室の魅力を PR します。<br>□和室から見える桜や紅葉の景色を発信<br>ブログ：４回、Twitter：４回以上 | □和室公開　２回実施<br>春３月 21 日(土)-４月 12(日)<br>秋 11 月 24 日(金)-12 月 13 日(日)<br>■秋の和室公開時には展示「花と語らう」に寄せて大佛次郎の時代小説「櫻子」とお香に関する紹介を行いました。香老舗・松栄堂の協力により、作品に出てくる「沈香」の香りの演出が好評でした。<br>□来場者数(期間中来館者数)<br>春：2,785 人、秋：941 人<br>□ブログでの発信　４回<br>□ツイッターでの発信　４回以上 |
| ●大佛茶亭公開<br>鎌倉風致保存会主催の | ■テーマ展示毎に茶亭の展示コーナーを展示替えし | ■鎌倉・大佛茶亭公開日にブックレット販売とミニ展示および記念館パンフレット |

| | | |
|---|---|---|
| 鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズの出張販売を行います。<br><br>・子ども対象事業を実施します。 | ます。<br>■会場で書籍、グッズ販売を実施、施設の紹介も行います。<br>■大佛次郎記念館パンフレット配布を行います。 | やちらし配布を行いました。<br>□来場者数　４月６日（土）：584 名、10 月５日（土）：236 人<br><br>■テーマ展示にあわせ、茶亭展示コーナーの展示替えを１回実施しました。８月をもって茶亭の一般利用が終了したためです。 |
| ●小学生ミニ・ビブリオバトル<br>本好きだった大佛次郎のスピリットを伝えるとともに、読書全般に対する振興事業として、ミニ・ビブリオバトルを実施します。 | ■昨年度に引き続き第７回ミニ･ビブリオバトルを実施します。<br>□年１回開催 | ■第７回ミニ・ビブリオバトル<br>開催日　11 月 30 日(土)<br>７月北方小学校および元街小学校 4-6 年生、８月に大鳥小学校６年生を対象にミニ・ビブリオバトルのデモンストレーションを行い事業の周知に努めました。<br>□ミニ・ビブリオバトル応募者　11 人９校<br>□ミニ・ビブリオバトル参加者　9 人<br>見学者 40 人<br>■神奈川県内中学２校から４人をゲストバトラーとして招聘し今後の事業展開の参考としました。 |
| ○夏休み子どもアドベンチャー<br>横浜市教育委員会主催の「夏休み子どもアドベンチャー」に参加し、子どもと保護者の入館を促進します。<br>時期：８月（未定）・２日間 | ■読みきかせによる感想画体験を実施します<br>□年１回開催、感想画体験全４回<br>□参加者目標：30 人（各日２回開催、定員 10 名） | ■夏休み子どもアドベンチャー<br>開催日　８月 15 日(木)、16 日(金)<br>大佛次郎の童話「白猫白吉」を参加者の子どもたちに読み聞かせ、感想画を描いてもらいました。希望する保護者にはテーマ展示の解説を実施しました。また、感想画は８月末までサロンに展示したほか、許可を得て当館年賀状にデザインしました。<br>□参加者　子ども 41 人　保護者 46 人<br>■高校生職業体験として高校１年生２人を受け入れ、朗読係やイベント補佐に活動してもらいました。 |
| ○神奈川県博物館協会主催のミュージアム・ミッションに参加し、来館者増を図ります。 | ■ミュージアム・ミッション 2019 に参加します。 | ○ミュージアム・ミッション 2019<br>会期：７月 20 日(土)～８月 31 日(土)<br>□参加者　281 人<br>■窓口で積極的に参加の声掛けをした結 |

| | | |
|---|---|---|
| 時期：８月（未定）<br>・観光客や新規来館者を呼びこむ企画<br>○「大佛次郎×ねこ写真展 2020」の実施<br>大佛次郎の愛した猫を切り口に、新たな来館者層を開拓します。<br>平成 31 年２月～４月開催予定 | ■会議室での展示事業<br>□年１回開催<br>■ねこグッズの販売<br>□入館者目標：3,700 名<br>■オリンピック 2020 または俳句など公募写真についてテーマを設けて募集します。 | 果、前年度の 3 倍に参加者が増えました。<br>■大佛次郎×ねこ写真展 2020<br>会期：２月 22 日(土)～４月 19 日(日)<br>□来館者数：432 人(３月 31 日まで)<br>※コロナウイルス感染症拡大防止のため２月 29 日から休館しました。<br><br>■応募写真にコメントを 18 文字で付してもらい、写真とコメントのコラボレーションを楽しむ趣向を継続しました。応募写真のほかに大佛次郎自らが昭和 40 年代に自宅で撮影した猫のカラー写真や、館が所蔵する「ねこの浮世絵」を展示し、大佛次郎の「猫愛」を感じていただきました。<br>□ねこ写真展　応募点数 360 点、応募者数 133 人<br>□ねこ写真展の人気投票による上位者への賞品提供会社が１社増え５社となりました。 |

エ　施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ・記念館の雰囲気や建物の魅力を生かした利用の誘致を行います。<br>●茶会の利用促進を行います。 | ■茶会利用時の様子を SNS で紹介します。 | ■「レトロな洋館で楽しむ　クリスマス茶会」<br>12 月 21 日（土）10：30～　1 席 400 円<br>和室の茶会利用を促進するため、地元企業２社の協賛を受け昨年度に続き２度目の茶会を主催しました。青山学院横浜英和中学高等学校の茶道部に茶席運営を依頼し、地域の教育機関との連携を図るとともに、海の見える和室の佇まいの良さを来館者に伝えることができました。<br>□参加者　66 人<br>□招待状と施設利用案内を近隣中学校４校 |

| | | |
|---|---|---|
| | | と開業予定ホテル１社に送付しました。<br>■クリスマス茶会の様子をブログで紹介しました。 |
| ・会議室、和室の利用促進<br>建物の魅力を活かした撮影利用や、展示利用等を誘致します。 | ■和室の利用促進のための期間限定で半額キャンペーンを実施します。 | ■２月 15 日から４月 19 日まで「和室利用半額キャンペーン」を実施しました。<br>□期間中の予約コマ数：９件 |
| ●ウェディング撮影 | ■ウェディング撮影を近隣のホテルや結婚式場と連携して誘致を推進します。<br>公園内のウェディング撮影について積極的に SNS で発信します。(再掲)<br>■ホームページを活用した広報の実施 | □ウェディング外観撮影時に Twitter アップ２回<br>その他、ウェディング外観撮影が随時ありました。<br>□ウェディング会社への営業活動　１社 |
| ●ドレス撮影ほか | □ドレス撮影会等、商業撮影の誘致　年５回以上 | ■利用のあった際は随時 Twitter で紹介しました。<br><br>□ドレス・着物撮影等の利用　14 回（ドレス４回・着物９回・袴１回）<br>□テーマ展示Ⅰ関連企画として、ドレス体験「ヨコハマ物語」プランを共同開発し 10 名の利用申込がありました。<br>■卒業式袴レンタル会社およびドイツバッグメーカーのカタログ撮影の新規利用がありました。袴カタログ会社への営業や HP での利用紹介が利用につながりました。 |
| ●学校等の利用促進（ボランティアへの会議室の減免提供、小学生ミニ・ビブリオバトル参加校への会場としてのサロン提供） | □小学校内ミニ・ビブリオバトルの会場提供：１校 | □北方小学校の校内決戦会場提供　１校 |
| ●研究団体への場の提 | ■大佛次郎研究会発表会を | □大佛次郎研究会への施設提供　２回 |

| | | |
|---|---|---|
| 供<br>（大佛次郎研究会、フランス経済史研究会の活動支援）<br>●市民団体への場の提供（天皇の世紀を読む会の活動支援） | 共催（再掲）<br>■施設利用に協力します（再掲）<br>■メンバー募集広報協力をします | ■大佛次郎研究会会員募集ちらしの配架<br>■資料閲覧への協力 |
| ●その他 | ■撮影等特徴ある利用実績を記録し紹介し、施設利用の提案を行います。<br><br>■主催もしくは共催で、会議室の連続利用につながる事業を開催します。 | ■特徴ある利用は、すぐにTwitterで発信し、またブログでは写真を交えて紹介しました。（着物撮影、ビブリオバトル、袴撮影、ドレス撮影等）<br>■主催事業「横浜港とお茶の歴史＆美味しい淹れ方講座」５月６日　会議室利用<br>■主催事業「モイストポプリワークショップとポプリ展示」<br>10月５日～９日　会議室利用<br>■主催事業「大佛次郎×ねこ写真展2019」<br>２月22日～４月19日　会議室利用<br>○共催事業「山手ユースギャラリー」<br>２月８日～16日　会議室利用 |
| ・リピート利用に向けた方策 | | |
| ●和室、会議室での附帯設備導入等による利便性向上 | ■附帯設備について積極的に広報します。 | ■附帯設備の茶道具について、ブログに写真を付けて紹介しました |
| ●会議室での自主事業の実施<br>●会議室の利用者の意見を聞き設備面・サービス内容等を改善<br>●ホームページでの情報提供 | □「大佛次郎×ねこ写真展2020」を実施します。<br>年１回（再掲）<br>■ご意見を聞く仕組みを整備します。<br>■ホームページの「和室・会議室空き状況」について遅滞なく更新します。 | ■「モイストポプリワークショップと展示」・「大佛次郎×ねこ写真展2020」を会議室で実施（再掲）<br>□和室・会議室利用者にヒアリング　３件<br>■和室で椅子を使いたいという高齢者のニーズに対応するため、パンチカーペットと椅子を新たに用意しました。<br>■ホームページ内「和室・会議室空き状況」の随時更新を行いました。 |
| ・ティールーム「霧笛」との連携 | | |
| ●相互割引の継続実施及び団体利用者への | ■相互割引を継続します<br>■団体客や貸館利用者へテ | ■相互割引の継続実施<br>■和室・会議室の利用案内表に相互割引や |

| | | |
|---|---|---|
| 霧笛紹介<br>●記念館活性化プロジェクトで開発されたメニューの継続販売。<br>●広報協力<br>（当館広報物への情報掲載等の実施、企画との連携メニュー等の相互の活性化に向けた協議） | ィールーム利用を案内します。<br>■夏季限定で大佛フラッペの提供を継続します。<br>■ホームページでの情報掲載を継続します。 | ケータリングの情報を掲載。<br>■横浜みなとみらいホールとの共催事業においてコーヒーサービス付のチケットを販売し、喫茶利用につなげました。<br>■フランスをイメージした３色（トリコロール）シロップのかき氷「大佛フラッペ」を夏季限定で販売しました。<br>■ホームページでの喫茶情報掲載の継続<br>■テーマ展示と連携した「２色アイスクリーム」「フラワーソーダ」を提供してもらい、当館からもポストカードやしおりをプレゼントすることで魅力あるメニュー提供と販促につなげました。<br>■ハロウィンウォークと連動し、クッキーの販売を試みました。 |

オ　市民協働及び地域とのネットワーク構築

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●近隣教育機関との連携 | ■近隣小学校等とは、チラシ配布、ポスター掲示等で日常的な協力関係を築くとともに、小学生ミニ・ビブリオバトル等の子ども対象事業への参加を呼びかけます。 | ■ミニ・ビブリオバトルの募集に先立ち、職員が中区の北方小・元街小・大鳥小に出向き児童に各１時限を使ってデモ・ビブリオバトルを実施しました。11 月に北方小学校ビブリオバトル校内決勝戦が記念館サロンを会場にして開催されました。<br>■ミニ・ビブリオバトルではゲストバトラーとして神奈川区・浅野学園図書研究部および川崎市・カリタス学園の生徒を招聘しました。<br>□学校ポストを利用し全横浜市立小学校 352 校に募集チラシを配布<br>■「クリスマス茶会」において南区・青山学院横浜英和中学高等学校から運営協力をいただきました。（再掲） |
| ・近隣施設等との連携<br>●横浜山手芸術祭への参加<br>横浜山手西洋館ユースギャラリーの会場 | □横浜山手西洋館ユースギャラリー参加：年１回<br>横浜山手西洋館ユースギャラリーの会場として、市立北方小学校児童作品を会 | ○横浜山手西洋館ユースギャラリー<br>会期：２月８日～16 日（８日間）<br>工作、絵画など北方小学校児童の作品を会議室で展示しました。<br>□観覧者数　408 人 |

| | | |
|---|---|---|
| として、親子の来館を促進します。 | 議室に展示します。<br>・期間　平成 32 年２月(約 10 日間)の予定 | |
| ●山手西洋館(横浜市緑の協会)との連携 | ■山手西洋館ハロウィンウォークへの参加<br>ハロウィンウォークを大佛次郎記念館に来館しない層への周知機会とします。<br><br>□山手通信への情報掲載<br>年６回 | ○「永遠に続く魔法の丘　ハロウィンウォーク 2019」参加<br>10 月 27 日（日）<br>□入館者数　3,495 人<br>仮装で入館無料・スタンプラリー設置。好天に恵まれ一日の入館人数が元年度最多となりました。館内をハロウィンに合わせた装飾で飾り、職員全員が仮装しスタンプラリー参加者にキャンディを配布し、山手地区一帯のにぎわい創出に貢献しました。初めて記念館に入ったという声も多くあり、施設の周知につながるイベントとして位置づけています。<br>■「横浜山手西洋館　世界のクリスマス」開催時期に合わせて、初めて館内に本格的なクリスマスデコレーションを行い、周辺施設からの回遊性と地域一体感を創出しました。<br>□山手通信（隔月発行）への情報掲載　年６回 |
| ●県立神奈川近代文学館との連携 | ■近隣文化施設として協力関係を維持します。<br>■観覧者の相互割引(50 円)を継続実施します。 | ■神奈川近代文学館との入館料の相互割引を継続しました。<br>■ドレスの常設展示を行っている岩崎ミュージアムと、テーマ展示Ⅰ開催期間において入館料の相互割引を実施しました。 |
| ・近隣商店街等との連携<br>●元町商店街(元町ＳＳ会)、横浜高速鉄道(株)、ホテルニューグランド、霧笛楼、美濃谷あられ製造本舗等と連携します。 | ■ポスター掲示や賞品提供等のご協賛を依頼します。<br>■優待券を発行し、近隣店舗での記念館誘致を図ります。 | ■「大佛次郎×ねこ写真展 2019」に対してホテルニューグランド、ポンパドウル、元町霧笛楼、美濃屋あられ製造本舗に加え、新たに横浜高速鉄道から賞品協賛をいただきます。<br>■テーマ展示Ⅰ関連イベント「横浜港とお茶の歴史　おいしい日本茶淹れ方ワークショップ」を本牧・栗田園の協力により開催しました。 |

| | | |
|---|---|---|
| | | ■「クリスマス茶会」に対して本牧・栗田園、元町香炉庵から協賛をいただきました。（再掲）<br>■横浜高速鉄道(株)の「元町・中華街駅」での通年ポスター掲示、「日本大通り駅」でのテーマ展示Ｉのポスター掲示が実現しました。<br>■隣接するＫＫＲポートヒル横浜および元町霧笛楼、エリゼ光に入館割引券の備え置きを依頼し、回遊観光を狙いました。<br>■テーマ展示Ｉについて近隣の岩崎ミュージアム・横浜はいからきもの館との相互割引を実施しました。 |
| ●大佛次郎記念館活性化プロジェクトから生まれたポンパドウル商品の販売継続を働きかけます。 | ■冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の継続販売を働きかけます。 | ■ポンパドウル元町本店「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売実施<br>期間　12 月 1 日～1 月 31 日<br>■販売時期に記念館内でサバランのポスター掲示 |
| ●近隣ショップにポスターの相互掲示を継続 | ■ポンパドウルほか近隣ショップにポスター掲示やちらし配布、割引券の配布を依頼します。<br>□ポスター掲示：２軒<br>■当館でも店舗ポスターやパンフレットで広報し、相互協力を行います。 | ■ポンパドウル元町本店での通年ポスター掲示<br>■元町商店街のウチキパン・タカラダ・近澤レース店・愛知屋・エリゼ光の５店舗でテーマ展Ｉのポスター掲示<br>■元町・霧笛楼、香炉庵、香老舗・松栄堂のパンフレットを館内配架<br>■ホームページの相互リンクの継続 |
| ●横浜高速鉄道株式会社との連携 | ■元町・中華街駅でのポスター掲示実施<br>■みなとみらい線他駅でのポスター掲示の働きかけ<br>■「みなとぶらりチケット」等の企画券提示での割引（50 円）の継続実施。 | ■「元町・中華街駅」での通年ポスター掲示、「日本大通り駅」でのテーマ展示Ⅱのポスター掲示（再掲）<br>■みなとぶらりチケット提示による入館料の割引実施 |
| ●ホテルニューグランドの大佛次郎ゆかりの「天狗の間」宿泊プランの継続を働きかけます。 | ■宿泊プランの継続を働きかけます。 | ■ホテルニューグランド「天狗の間宿泊プラン」販売を継続<br>■「2019 年市民が選ぶ横浜 10 大ニュース」に協賛し記念品を提供しました。 |

| | | |
|---|---|---|
| ●研究者団体等の文化活動への場の提供 | ■大佛次郎研究会及びフランス経済史研究会との施設及び資料利用に関する協定関係を継続します。 | ■大佛次郎研究会との覚書による協力関係を継続<br>■フランス経済史研究会との協力関係を継続<br>■フランス史研究者への資料の紹介と利用促進を目的とし、日仏歴史学会の『会報』第 34 号「文書館事情」に「大佛次郎記念館の収蔵資料について」と題する紹介文を掲載しました。 |
| ●財団他施設との連携 | ■「音祭り」に関連して財団他施設と連携しコンサートを実施します。 | ○横浜みなとみらいホール共催「レトロな洋館で楽しむサロンコンサート　上野由恵（フルート)」<br>11 月 11 日（月）13：30 開演<br>特任研究員・猿渡紀代子氏の「建物のひみつ」トークのあと、フルート演奏を楽しんでいただきました。サロンならではのアーティストとお客様の親密な空気感が生まれお客様の満足度も高いイベントとなりました。<br>□入館者数　38 人（チケット 40 枚完売） |
| ・市民協働<br>●ＮＰＯ法人横浜シティガイド協会への働きかけ | ■相互協力契約の締結に向け調整します。<br>■定期的にチラシを協会に提供し、ガイドが案内しやすい環境を整えます。 | ■平成 30 年度に覚書を締結し、運用を開始しました。<br>■定期的にチラシを提供し情報提供を行いました。 |
| ●記念館ボランティア展示作業、イベント開催のお手伝いをいただきます | ■ボランティアメンバーの拡充を図ります。 | ■素案を作成しました。２年度からの執行を目指します。<br>■県立歴史博物館ボランティアガイド視察 |

カ　広報・プロモーション活動等の推進

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ・広報よこはま、地域のタウン誌、新聞紙面等による広報活動を継 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 続します。<br>・ＳＮＳ等を活用したプロモーション活動を行います。 | | |
| ●年間スケジュールちらしの作成と配布<br>●「山手通信」へのイベント情報提供<br>●イベントちらしの作成<br>●ヨコハマ・アートナビイベント情報掲載 | □４か月スケジュールの発行：年３回、各 8,000 枚<br>□山手通信への情報掲載年６回（再掲）<br>□年３回、各回 8,000 枚以上 | □年３回発行<br>■山手通信へ情報提供（再掲）<br>□イベントちらしの作成　23 件<br>□ちらしは展示・イベント内容に応じて 6,000～15,000 枚を作成しました。テーマ展示Ｉは前期 15,000 枚・後期 10,000 枚と集客規模により枚数を調整しました。 |
| ●新聞等掲載（市政記者発表、広報よこはま中区版への情報掲載依頼、タウンニュース中区・西区版への情報提供の実施）<br>●大佛次郎及び記念館紹介ビデオの放映 | □年３回（７月、11 月、３月）<br>□テーマ展、ねこ写真展等の記者発表を実施：年４回以上（再掲）<br>■紹介ビデオを１階ロビーで放映し、入館者に着席して鑑賞いただけるようにします。 | □記者発表回数　9 回（再掲）<br>テーマ展示３回、和室公開、ミニ・ビブリオバトル、クリスマス茶年、ねこ写真展 2020 募集・開催、大佛次郎賞記念講演会<br>□記事掲載件数（ＷＥＢ含む）638　件<br>■日本語・英語の２か国語で開館時、ロビーでの放映を継続しました。 |
| ●ホームページを通じた情報発信及び SNS、IT を活用したプロモーションの実施<br>（ホームページ、ブログ、Facebook、Twitter、ヨコハマアートナビ、ヨコハマ・コドモアートナビ等を活用）<br>●ＣＡＴＶでの情報発信<br>ＣＡＴＶ局やその他ＴＶ局と連携して、企画展等の情報を発信 | □ホームページ情報更新月３回以上（再掲）<br>□ブログ更新回数：月５回（再掲）<br>□Facebook、Twitter での発信:各月５回（再掲）<br>□テレビ・ラジオ等からの情報発信：年３回以上 | □ホームページ更新 59 回(月平均 4.9 回)<br>□ブログ更新　83 回(月平均 6.9 回)<br>□Facebook 更新　83 回(月平均 6.9 回)<br>□Twitter ツイート数 529 回(月平均 44.1 回)<br>■テーマ展示Ｉで Facebook を利用した WEB 広告を７月から２か月間展開しました。<br>□リーチ数：355,535、クリック数：766<br>■テーマ展の情報発信のほか、横浜フランス月間関連展示、ねこ写真展の取材がありました。 |

| | | |
|---|---|---|
| します。<br>●その他の工夫 | ■テーマ展示Ⅱで Wi－Fi と YouTube を活用した音声ガイドを提供します。 | □ＴＶ　年５回、ラジオ　年 12 回<br><br>■テーマ展示Ⅱにおいて、ギャラリー内のＱＲコードを読み取り YouTube の花に関するエッセイの朗読を６か所聞くことができる仕組みを提供しました。（再掲）<br>■「2019 年市民が選ぶ横浜 10 大ニュース」へ協賛を行い、大佛次郎記念館のロゴがちらしに掲出されました。 |
| | | |

キ　後世に継承するための記念館の活性化

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ・大佛次郎作品の刊行協力等、大佛作品を読める環境整備 | | |
| ●大佛次郎の自著や関連書籍の販売協力 | ■28 年度末、小学館刊行の「500 匹と暮らした文豪大佛次郎と猫」を始めとする大佛次郎自著や関連書籍の販売協力を行い、普及に努めます。 | ■現行の発行書籍について、ショップで販売しました。童話「スイッチョねこ」については版元に在庫がなく販売できない状況が続いています。 |
| ●その他 | ■単行本未収録の作品の刊行や絶版本の復刊を出版社に働きかけます。<br>■テーマ展示に合わせてブックレットの発行を行います。（再掲） | ■出版社を訪問し復刊について相談をすすめ１社と具体的な内容を調整中です。<br>□テーマ展示Ⅱに関連するブックレットの発行　１冊 |
| ・フランス関連資料の活用 | | |
| ●企画展や常設展示コーナー等での展示 | ■収蔵品展で展示活用します。 | ■収蔵品展の猫コーナーで洋書の猫の本 14 冊を展示しました。 |
| ●横浜フランス月間への参加 | ■大佛次郎「帰郷」の仏語翻訳者であるキク・ヤマタを紹介するミニ展示を開催します。 | ■横浜フランス月間への参加<br>「大佛次郎とフランスを愛する仲間たち～横浜・リヨン姉妹都市締結 60 周年を記念して～」<br>会期：６月８日（土）～７月 28 日（日）<br>フランスへの憧れを抱き続けた大佛次郎 |

| | | |
|---|---|---|
| | | と、リヨン出身の女流作家キク・ヤマタ、滋野男爵夫人ジャンヌ等ゆかりの人々との交遊を、書簡や写真資料20点で紹介しました。<br>○横浜フランス月間2019関連イベント<br>「キク・ヤマタの生涯と作品」<br>6月15日（土）無料　参加　26人<br>歴史家マチュー・セゲラ氏を講師に、アンスティチュ・フランセとの共催で開催しました。 |
| ・若者の来館促進<br>●スタンプラリー等参加 | ■キャンペーンイベント等のスタンプラリー拠点に参加し、若い世代の来館を促します。<br>（ミュージアムミッション 2019、ハロウィンウォーク 2019） | ○ミュージアム・ミッション2019（再掲）<br>会期：7月20日(土)～8月31日(土)<br>□参加者　281人<br>○ハロウィンウォーク 2019（再掲）<br>会期：10月27日（土）<br>□参加者　3,495人<br>○横浜市交通局×タカラッシュ！横浜謎解きバス巡り「絵本から消えた赤い靴」謎解きスポット提供<br>会期：4月26日～開催中 |
| ●「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」成果継承<br>活性化プロジェクトアイデアを活用して、記念館の魅力アップを図ります。 | ■ポンパドウルに、冬季限定パン「冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売を、ティールーム霧笛に夏季限定で大佛フラッペの販売継続を働きかけます。（再掲） | ■ポンパドウル「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売（再掲）<br>■ティールーム霧笛「大佛フラッペ」の販売（再掲） |
| ●子どもたちが記念館に集う取組 | ■小中学生入館無料化の周知（再掲）<br>■夏休み子どもアドベンチャー参加継続（再掲）<br>■小学生ミニ・ビブリオバトルの開催（再掲）<br>■ハロウィンウォークへの参加継続（再掲） | ■小中学生入館料無料を継続<br>■夏休み子どもアドベンチャー参加（再掲）<br>■ミニ・ビブリオバトル開催（再掲）<br>■ハロウィンウォークへの参加（再掲）<br>■大佛次郎×ねこ写真展2020（再掲） |

| | | |
|---|---|---|
| ●記念館オリジナルキャラクター「くらまくん」活用による記念館のイメージアップ<br><br>●スタッフの展示案内によるリピーターの確保 | ■ねこ写真展の実施（再掲）<br>■29年度よりP+D文庫の「鞍馬天狗」復刊記念キャンペーンの、くらまくん缶バッチプレゼントを継続します。<br>□団体入館者への１階での解説：年20回以上<br>□テーマ展示のミニ解説実施：年９回以上<br>□建物に関するミニ解説実施：年９回以上 | ■キャンペーンを継続実施<br><br>□団体入館者に対する解説：年66回（展示解説、建物ミニ・ミニ・トークを含む）<br>団体客のニーズに合わせ説明の長さや内容を変えての解説が好評でした。 |
| ●愛猫家の側面に着目した、猫を活かした企画展開<br><br>●健全な財務体質の実現に向け、個別事業評価システムによる自己評価、文学懇話会の意見、年次評価等を活用したＰＤＣＡサイクルの構築 | ■「大佛次郎×ねこ写真展2020」の実施<br>■個別事業評価システムによる自己評価の実施<br><br>■文学懇話会の開催<br>■年次評価の実施（自己評価、行政評価、外部評価） | ■大佛次郎×ねこ写真展2020（再掲）<br>会期：２月22日（土）～４月19日（日）<br>■個別事業評価システムにより、事業計画から終了報告まで収支を含む事業毎の執行管理を適切に行いました。<br>□文学懇話会の開催<br>年１回　６月21日<br>要綱改正し年１回開催としました。<br>□政策経営協議会<br>年２回　７月12日、１月９日<br>□選定評価委員会<br>年１回　10月28日 |

（２）施設運営について

ア　観覧及び市民・市民団体の教養活動のための施設の提供

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ①　観覧施設の提供 | □開館について<br>開館日数：299日<br><br>営業時間：(4～9月)10時～17時30分<br>(最終入館17時) | □開館日数　271日<br>台風のため臨時休館 10月 12,13日<br>事務所改修工事のため臨時休館 1月15日<br>※コロナウイルス感染症拡大防 |

<table>
<tr>
<td>② 和室及び会議室の積極的な貸出、レファレンス対応（広報協力、感想・ご意見の徴収、ホームページでの空き情報提供サービス等によるリピート利用促進等）<br><br>■入館者数の増</td>
<td>
<table>
<tr><td></td><td>（10～3月）10時～17時<br>（最終入館16時30分）</td></tr>
</table>
□利用料金について（平日利用料）
<table>
<tr><td></td><td>10時～<br>12時30分</td><td>13時～<br>17時</td></tr>
<tr><td>和　室</td><td>5,000円</td><td>8,000円</td></tr>
<tr><td>会議室</td><td>2,500円</td><td>4,000円</td></tr>
</table>
□レファレンスサービス：年間50件<br><br>□目標利用率　和室　35%（日）<br>会議室　37%（日）<br><br>□入館料について<br>大人（高校生以上）200円<br>（団体料金150円）<br>小中学生　無料<br>市内在住65歳以上　無料<br>□年間入館者目標：19,600人<br>一日の入館者目標：66人<br>（実績　26年度16,678人<br>27年度17,036人<br>28年度22,507人<br>29年度24,492人<br>30年度29,127人）
</td>
<td>止のため２月29日以降休館<br><br>□記載どおり実施<br><br>□レファレンスサービス（再掲）<br>年間69件<br>■ねこ写真展の開催期間中は和室を半額で貸し出すキャンペーンを昨年度に続いて実施し、利用率の向上を図りましたが、閉館措置によりキャンセルとなりました。<br>□和室27.1%（未達）<br>会議室36.9%（未達）<br>和室は30年度より5%利用率があがったものの、目標数値に届きませんでした。<br><br>■記載どおりに実施<br><br>□年間入館者数：25,593人<br>※コロナウイルス感染症拡大防止のため３月休館<br>（昨年度比3,534人減）<br>一日平均の入館者数：94名</td>
</tr>
</table>

イ　利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウの一層の活用

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●施設貸出の御案内、撮影等の貸出利用案内 | ■メルマガ登録者を増加させるためのキャンペーン | ■ねこ写真展期間中にメルマガ募集キャンペーンを実施し、登録者を募りました。 |

| | | |
|---|---|---|
| 強化による利用促進（貸出施設の案内、ホームページへの撮影等の利用案内の掲載等） | を行います。 | □メルマガ登録数141人(前年度比28人増、最多166人)<br>□メールマガジン発行　６回（号外含む） |
| ●アンケート等による利用者ニーズの把握（和室無料公開の継続、会議室の学校関係の利用の促進、利用者へのアンケート及びインタビュー調査等の実施） | ■来場者に対するアンケートを実施します。<br>■月毎の集計を行い、館内スタッフに迅速なフィードバックを行います。 | ■来場者アンケートは翌月はじめに集計し、館内で情報共有しました。<br>■施設運営の課題について、速やかに職員・財団・横浜市と情報共有し解決をはかるようにしました。<br>■テーマ展示Ⅰ、Ⅱおよびねこ写真展開催中に、キャンペーンを実施し、回答者へプレゼントを用意することでアンケート回収率アップをはかりました。 |
| ●要望・苦情等への対応（要望・苦情の館内・財団・市との適切な共有と対応）<br>●案内・説明表示の外国語表記対応 | ■改善事例については、ホームページ、ＳＮＳ等で情報発信します。<br>■アンケートや対面のご意見は、対応が可能なものはすぐに対応します。それ以外は館・財団、市と共有し、協議します。 | ■小型 PC による博物館来館者調査の試行を継続し、来館者の属性や消費行動を分析することでニーズの把握に努めています。<br>■ブログやTwitter で施設設備や特徴ある利用の紹介を随時行いました。 |
| ●展示解説や団体向け解説を実施します。（再掲） | ■案内パンフレットの英語版を外国からの入館者に積極的に配布します。<br>■１階ロビーの英語表記を継続します。<br>□団体入館者に対する解説年20回以上(再掲)<br>■解説時、対話によりお客様のニーズを把握します。 | ■記載どおり実施<br>■神奈川県の助成金により英語版パンフレットを新たに作成しました。<br>□団体入館者への解説実施（再掲）66回648 人（展示解説、建物ミニ・ミニ・トークを含む）<br>■お客様の興味に沿った説明を行うよう、良いコミュニケーションを取りながら解説を行いました。<br>※台風、コロナウイルス感染症拡大防止のための中止あり。 |
| ●施設の魅力向上 | ■施設の魅力を向上させるため調度品類を必要に応じて随時修繕・更新します。 | ■クリスマス・ひな祭りに季節デコレーションを委託・実施<br>■PayPay の設置による決済利便性の向上<br>■クレジットカード決済の導入準備 |

<table>
<tr>
<td>・オリジナル商品の開発及び図書の販売<br>（話題性のある商品の開発・販売、一般書店では手に入りにくい図書類の販売、文庫本へのオリジナルカバー付加、通販対応の継続とホームページでのPRの実施）<br><br>●エントランスでの利用促進及びサービスの向上取組（再掲）</td>
<td>■大佛次郎記念館オリジナルグッズを展開し、販促します。<br>□新規グッズ開発：１アイテム以上<br>■図書の販売を継続します<br>■小学館より刊行の「大佛次郎と猫」の販売収入のため積極的に宣伝します。<br><br>■大佛次郎の個人文学館として、現在一般書店では入手しにくい書籍類を販売します。<br><br>■買いたくなるような魅力的な商品ディスプレイを工夫します。<br>■大佛次郎の愛商品展示、オリジナルグッズ紹介（再掲）</td>
<td>□テーマ展Ｉでオリジナルクリアファイル２種を発売し各 1000 枚が完売しました。<br>□人気のあるねこ小物を新たに仕入し販売しました。<br>■PayPay、クレジットカード、電子マネーを導入しお客様の支払の利便性を高めました。<br>■図書の販売を継続しました。テーマ展Ｉ開催にあわせ漫画「ヨコハマ物語」を販売しました。<br>■ブックレット「I　Love　スポーツ。スポーツエッセイ集」「講演録　生地のままに」「花と語らう」はサロンと閲覧室に見本を置き、試読からの購買を促進するしかけとしました。<br>■エントランスにねこや動物のカプセルトイを設置を継続し、来館者へのサービス向上につなげました。<br>■ショーケース内を随時入れ替えし、目を引くポップを掲出するなど魅力的なディスプレイに努めました。</td>
</tr>
</table>

ウ　組織的な施設運営

<table>
<tr>
<td>［取組内容］<br>●適切な運営組織体制と人材の配置<br>最少人数での最大効果を求め、情報の共有化、迅速な意思確認を徹底します。</td>
<td>［達成指標］<br>□人材の配置について<br><br><table><tr><th>項目</th><th>人数</th><th>備考</th></tr><tr><td>館長</td><td>１人</td><td></td></tr><tr><td>副館長</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>職員</td><td>３人</td><td>事務室１、研究室２</td></tr><tr><td>アルバイト</td><td>２人</td><td>事務室１、研究室１</td></tr><tr><td>業務委託</td><td>２人</td><td>月４回</td></tr><tr><td>カルチャースタッフ</td><td>４人</td><td>受付窓口</td></tr></table><br>□館内会議の実施</td>
<td>［実施内容と達成状況］<br>□最少人数での人員体制の中、遺漏なく業務が執行できるシフトを組み運営体制を保ちました。<br><table><tr><th>項目</th><th>人数</th><th>備考</th></tr><tr><td>館長</td><td>１人</td><td></td></tr><tr><td>副館長</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>職員</td><td>３人</td><td>事務室１、研究室２</td></tr><tr><td>アルバイト</td><td>２人</td><td>事務室１、研究室１</td></tr><tr><td>業務委託</td><td>２人</td><td>月４回</td></tr><tr><td>カルチャースタッフ</td><td>４人</td><td>受付窓口</td></tr></table><br>□記載どおり実施<br>事業の調整・決定、中長期の企画立</td>
</tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| ・文学館の専門性、公共の施設として適切な人員を配置。職員の能力向上のため、研修を実施します。（OJT、MBO、財団・市実施の研修、外部研修への参加）<br>・事務室、研究室共通業務に必要な資格取得に向けたバックアップを行います。 | 研究室会議：月１回<br>合同会議：月１回<br>企画会議：月１回<br>■業務として必要な専門知識向上や資格取得のため、費用対効果も見極めながら、積極的な受講・取得を推進します。<br>■研究室は展覧会の企画立案、資料等の研究・整理等の能力を有する職員を配置します。<br>■全国文学館協議会会議をはじめとする外部講習会に参加し、文学館同士の情報共有・連携強化を行います。 | 案、施設運営の情報共有の場としました。<br>■１月に１階事務室を改修し、事務室と研究室の職員が一か所で執務しています。迅速な情報共有と意思決定が可能になりました。<br>■業務を行う上で有用な研修を積極的に受講しました。<br>【研修】神奈川県博物館協議会、全国文学館協議会、「五感で感じる植物園」、視覚障害を理解する研修、IPM、美術系人材専門研修２回（財団）、広報研修（財団）、やさしい日本語研修、契約実務研修（財団）、【視察】大佛次郎作「たぬき」事業視察、匂い袋ワークショップ視察、博物館データベースヒアリング<br>■高い専門能力を有する職員２名を研究室に配置<br>■特任研究員の専門的助言を受け能力向上に努めました。<br>■６月全国文学館協議会総会･研修参加　２名 |

エ　個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ・個人情報保護・情報公開、環境への配慮、市内中小企優先発注等の取組の実施<br>●個人情報保護<br>（個人情報マニュアルの作成と年１回以上の改定・見直し及び職場内研修の実施、個人情報の適切な取り扱いによる事故防止）<br>●情報公開<br>●人権尊重 | □個人情報漏洩などに関する事故：０件<br>■業務計画書および報告書、収支計画書および収 | □個人情報漏洩などに関する事故：０件<br>■事務所の改修により書類の施錠管理がより徹底できるようになりました。<br>■30 年度業務報告書・収支計算書、31 年度 |

| | | |
|---|---|---|
| （横浜市主催の人権講演会への職員の参加、職場内研修の実施、受付職員を対象とした接遇研修の毎年度の実施） | 支報告書のホームページでの公開：実施　ＰＤＦのダウンロードを可能とします。<br>□研修への参加　年１回 | 業務計画書・収支予算書をホームページに掲載<br>□人権研修として「やさしい日本語研修」へ参加　１名 |
| ●省エネルギー・節電<br>（節電への取組、クールビズ、ウォームビズの実施と来館者への取組周知） | ■節電・節水を常に意識します。<br>■印刷・コピーの裏紙利用による古紙の減量化<br>■裏紙の適切な利用と裏紙ストック箱の設置 | ■可能な範囲の節電に努めました。<br>■記載のとおり実施<br>■「大佛次郎×ねこ写真展 2020」ちらしに『カーボンオフセットにより制作に伴う Co2 排出ゼロ』マークを掲出しました。（オフセットクレジットの提供者：アズビル㈱） |
| ●ごみ<br>（ヨコハマ３Ｒ夢プランに基づく取組の実施、ごみの軽減化の取組、印刷・コピーの適切な節制、文書の適切な処分） | ■ゴミ減量を視野に入れた展示方法を模索 | ■記載のとおり実施<br>■大型パネルなど展示資材について再利用できるものは保管しておき次回展示に活用しました。 |
| ●市内中小企業優先発<br>（特別な専門性が必要な契約等を除く発注の市内中小企業への優先） | ■専門性が必要な契約等を除く発注については、市内中小企業への発注に努めます。 | ■記載のとおり実施 |

（３）施設管理について

ア　施設及び設備の維持保全及び管理、公園管理

| ［取組内容］ | 達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化の実施 | ■施設運営に支障がでないように管理します。<br>■館建設から 40 年を超え、建物、設備、備品の劣化が進行しているため、必要な修繕を検討します。<br>■必要に応じ市と修繕に関する協議を行います。 | ■記載のとおり実施<br>■横浜市により、和室外壁防水および聚楽壁補修工事、２階漏水防止補完工事が実施され施設の環境が整いました。<br>■事務室の改修を行いました。（再掲）<br>■研究室への不審者侵入対策として入り口にアコーディオンカーテンを設置しました。 |
| ・保守点検、備品管理、環境維持の実施 | | |

| | | |
|---|---|---|
| ●備品の物品管理簿での管理、年度末の棚卸の実施等による適切な管理 | □物品管理簿と現品との照合による棚卸　年１回 | □棚卸の実施　　１回 |
| ●消耗品の適切な管理・購入による経費節減と発注事務の軽減 | ■在庫管理に努めます。 | ■記載のとおり実施 |
| ●大佛次郎遺品類及び関係資料の適切な管理（日常的な確認・点検の実施） | □点検、記録、調整の実施（再掲）　毎日２回<br>■特別書庫内使用の出入庫表への記録<br>□IPM の手法による環境管理　年２回<br>□資料整理　月１回<br>■資料修復の実施<br>□不具合早期発見のため自主点検　月１回 | □開館・閉館時に点検、記録、調整を実施<br>■特別書庫内使用の出入庫表への記録の実施<br>■総合的有害生物管理（ＩＰＭ）を実施しました。外部より講師を招き防黴について研修を開催しました。<br>□専門業者よる書庫内防塵防黴作業　２回、職員による同作業を１回　実施<br>□月１回の資料整理　実施<br>■長谷川路可の日本画（掛軸）について修復を行いました。<br>□記載の通り実施　月１回 |
| ●施設の不具合早期発見のための自主点検の実施 | ■自主点検内容の財団との情報共有 | ■点検等の際には財団事務局施設担当者が立合い情報共有を行いました。 |
| ・適切な環境維持管理業務の実施 | □清掃状況の点検　毎日１回 | □記載のとおり実施　毎日１回 |
| ●業務の基準の遵守及び見回りによる清掃の対応の実施<br>●公園の管理区域内の維持、公園管理者との連携調整 | □管理区域内の植栽剪定作業剪定年１回 | □植栽剪定は病害虫の発生がなかったため実施しませんでした。<br>■管理区域外の樹木についても必要に応じ公園管理者に連絡・相談を行いました。 |

小破修繕の着実な実行

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●小破修繕の取組（日常点検で把握した故 | ■随時実施<br>□不具合早期発見のため自主 | ■小破修繕の実施<br>和室外壁防水工事、２階ギャラリー部 |

| | | |
|---|---|---|
| 障等への都度対応による修繕費等の支出抑制、財団のサポートによる効果的、効率的な修繕の実施） | 点検を実施します。月１回（再掲）<br>■修繕等の実施に際しては横浜市と情報共有し、迅速な対応に努めます。（再掲） | エアコン修繕、ティールーム漏水修繕、通用口鍵修繕、ティールーム昇降口亀裂補修<br>□自主点検　月１回実施<br>■不具合箇所については、毎月のモニタリングを通じて横浜市と情報共有を行いました。 |

ウ　事故予防及び緊急時の対応

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ・事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症等衛生管理の実施 | | |
| ●全体管理について | ■施設運営に支障がでないように管理します。 | ■適切な管理を実施 |
| ●危機管理マニュアルの整備と必要に応じた改定 | ■改定マニュアルを整備し共有します。 | ■記載のとおり実施 |
| ●職員・カルチャースタッフによる館内の見回り・点検の実施 | □館内巡回　１日４回 | □館内巡回　１日４回<br>■２ＦギャラリーWEB カメラでの監視　随時 |
| ●インフルエンザ流行時のポスター掲示、鳥インフルエンザへの留意、ノロウイルス対応の準備と２次感染防止策の徹底 | ■消毒液及びせっけんを常備します。 | ■記載どおり実施<br>■感染症対応として心構えを全員で研修し確認しました。<br>■コロナウイルス感染症拡大予防のためアルコール消毒液と石鹸を常備し、来館者へ声掛けを行いました。 |
| ●緊急時の連絡体制（財団職員の必要に応じた応援依頼や、緊急連絡網の作成と緊急時の速やかな報告・相談の実施） | ■緊急連絡網を備え置きます。 | ■記載どおり実施 |
| ●ＡＥＤ設置及び研修（消耗品の定期的な更新・交換、財団主催の操作研修への全員参加 | ●スタッフ全員が AED 研修受講済みとなるようにします。 | ■AED 研修　全員受講済 |

エ　防災に対する取組

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ・日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施 | | |
| ●危機管理マニュアルの適宜見直し及び改定 | ■改定マニュアルを整備し共有します。（再掲） | ■記載どおり実施 |
| ●避難訓練（自衛消防組織の結成、防災計画の作成、危機管理マニュアルに基づく年２回の避難訓練の実施） | □防災訓練　年２回 | □年２回実施<br>９月 30 日、２月 25 日<br>９月は中消防署の指導による火災避難誘導訓練、２月は地震を想定した避難誘導訓練および感染症対策について実施しました。そのほか横浜市の伝達訓練・かながわシェイクアウト訓練にも参加しました。 |
| ●緊急事態に備えた飲料水、非常食、毛布等の備蓄 | ■備蓄管理します。 | |

５　収支について

ア　適切な収支構造及び収支バランス

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●適切な収支構造及び収支バランス | ■緊急性・必要性の高い事案から経費執行を検討し、提案した収支表に準じ、適切な収支管理を行います。 | ■契約の見直しにより、警備および清掃業務で前年度マイナスを実現しました。<br>■不要不急の支出を控え収支に対する意識をもって経費を執行しました。 |

イ　指定管理料のみに依存しない収入構造の検討

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ・指定管理料のみに依存しない収入確保の取組 | | |
| ●利用料金収入の確保（有料入館者数増に向けた取組の実施） | ■「大佛次郎×ねこ写真展 2020」を開催し冬季の有料入館者増につなげます。<br>□有料広告出稿５社 | ■コロナウイルス感染症拡大防止による休館が 2/29～5/6 と会期のほとんどに及び収益影響があります。<br>□有料広告掲載者　６社（昨年度と同） |
| ●おさらぎ選書への広 | | □ねこ写真展への協賛５社（１社増） |

| | | |
|---|---|---|
| 告掲載、企画展の協賛依頼<br>●ショップ売上目標の設定 | □ショップ売上目標：<br>2,700,000円 | □クリスマス茶会への協賛２社<br>□ショップ年間売上：2,376,547円<br>（前年度比130%増）<br>※コロナウイルス感染症拡大防止のため３月休館となり売上なし<br>□テーマ展示Ｉに対する文化庁芸術文化振興基金助成金獲得：180,000円<br>□英文パンフレットに対する神奈川県外国人観光客受入環境整備費補助金獲得：43,000円<br>□よこはまシニアボランティアポイント事業による寄付金　20,000円 |

ウ　経費削減及び効率的運営努力

| ［取組内容］<br>・経費節減等効果的運営の努力 | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●発注・事務処理上の留意点<br>（契約にかかる経費削減、支払時の事務処理時間及び振込手数料の削減、計画的な発送処理により作業時間及び郵送料の削減、廃棄物の削減） | ■職員の労務管理を適切に行い、超勤時間の削減に努めます。 | ■超勤の事前申請を徹底することで、仕事量と時間を意識させました。また業務内容の見直しを行い、効率的な執務を目指しました。<br>□元年度　超勤月平均時間　8.4時間／月（前年度10.1時間/月）<br>□全職員　有給５日以上取得<br>■３月は職員の時差出勤・在宅勤務を導入しました。 |
| ●施設、設備管理上の留意点<br>（早期対応による設備の長寿命化の実現と修繕費の節制、省エネルギーのための取組と光熱水費の節減） | ■節電・節水を意識します。（再掲）<br>■経費執行状況について、随時情報共有を図ります。 | ■記載どおりに実施<br>□電気前年度比△13.1%、水道同△0.5%<br>■記載どおりに実施 |
| ●コスト意識 | | |

| | | |
|---|---|---|
| （職員の超過勤務削減、業務分担の平準化、業務の外注化等の促進、効率的な勤務体制の実施） | | |

6　ＰＤＣＡサイクルの確実な運用

ア　日報及び月間事業報告書の作成・管理について

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●日報、月間事業報告書の作成と管理 | ■業務の基準に則り適切に対応します。 | ■適切に対応 |

イ　業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●業務計画書、業務報告書の作成と管理 | ■業務の基準に則り適切に対応します。 | ■適切に対応 |

ウ－１　業務評価（モニタリングの実施）について

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●モニタリングの実施による業務評価 | ■業務の基準に則り適切に対応します。 | ■適切に対応　月１回実施 |

ウ－２　業務評価（自己評価の実施）について

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●自己評価の実施による業務評価 | ■業務の基準に則り適切に対応します。 | ■適切に対応 |

ウ－３　業務評価（第三者による評価の実施）について

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●第三者評価の実施による業務評価<br>※該当年度のみ対象 | ■令和元年度の第三者評価の実施に向け、事業の案内を市を通じてお知らせし、視察対応をします。 | ■事業視察対応　計２回<br>※コロナウイルス感染症の状況を鑑み３月視察中止 |

7　その他について

ア　保険及び損害賠償の取り扱いについて

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●保険の加入と損害賠償への対応 | ■業務の基準に則り、対人１億円の保険金額の施設賠償 | ■適切に対応 |

| | | |
|---|---|---|
| | 等保険に加入します。 | |

イ　関係法令の順守

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●関係法令の遵守 | ■コンプライアンス事故ゼロの達成 | ■コンプライアンス事故ゼロを達成 |

ウ　市及び関係機関等との連絡調整

| ［取組内容］ | ［達成指標］ | ［実施内容と達成状況］ |
|---|---|---|
| ●市及び関係機関等との連絡調整 | ■モニタリングや、必要に応じた相互連絡により情報共有を行います。 | ■適切に対応しました。 |

（指定管理者が記入する様式）

# 令和元年度　「大佛次郎記念館」　収支予算書及び報告書

収入の部　　（税込、単位：円）

| 科目 | 当初予算額（A） | 補正額（B） | 予算現額（C=A+B） | 決算額（D） | 差引（C-D） | 説明 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 指定管理料 | 51,169,000 | | 51,169,000 | 51,169,000 | 0 | 横浜市より（消費税率変更後） |
| 利用料金収入 | 750,000 | | 750,000 | 869,500 | △ 119,500 | 和室・会議室利用 |
| 自主事業収入 | 2,496,000 | | 2,496,000 | 2,547,300 | △ 51,300 | コレクション展収入・講演会収入等 |
| 横浜市費用負担 | | | 0 | 361,000 | △ 361,000 | 新型コロナウィルス感染症に関する横浜市の費用負担分 |
| 雑入 | 3,944,000 | 0 | 3,944,000 | 4,481,401 | △ 537,401 | |
| 商用撮影・特別利用料 | 143,000 | | 143,000 | 191,422 | △ 48,422 | その他事業収入(市負担金・ティールーム設備利用を除く) |
| ティールーム設備使用料 | 1,079,000 | | 1,079,000 | 1,079,100 | △ 100 | ティールーム設備使用料 |
| 協賛金・助成金収入 | | | | 297,600 | △ 297,600 | 文化庁助成金、協賛金 |
| 事務局からの繰入金収入 | 0 | | 0 | 657,632 | △ 657,632 | 事務室改装経費 |
| その他（ショップ収入） | 2,722,000 | | 2,722,000 | 2,255,647 | 466,353 | ショップ売上、雑収入 |
| 収入合計 | 58,359,000 | 0 | 58,359,000 | 59,428,201 | △ 1,069,201 | |

支出の部

| 科目 | 当初予算額（A） | 補正額（B） | 予算現額（C=A+B） | 決算額（D） | 差引（C-D） | 説明 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 人件費 | 38,022,000 | 0 | 38,022,000 | 36,985,089 | 1,036,911 | |
| 給与・賃金 | 31,202,000 | | 31,202,000 | 29,784,420 | 1,417,580 | カルチャースタッフ4名・特任研究員等の人件費を含む |
| 社会保険料 | 4,490,000 | | 4,490,000 | 4,434,079 | 55,921 | |
| 通勤手当 | 1,209,000 | | 1,209,000 | 1,219,576 | △ 10,576 | |
| 健康診断費 | 72,000 | | 72,000 | 25,034 | 46,966 | |
| 勤労者福祉共済掛金 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 退職給付引当金繰入額 | 1,049,000 | | 1,049,000 | 1,521,980 | △ 472,980 | |
| 事務費 | 3,606,000 | 0 | 3,606,000 | 5,123,196 | △ 1,517,196 | |
| 旅費 | 78,000 | | 78,000 | 57,505 | 20,495 | 事業の旅費を含む |
| 消耗品費 | 498,000 | | 498,000 | 420,240 | 77,760 | |
| 会議賄い費 | 15,000 | | 15,000 | 38,898 | △ 23,898 | 雑支出（その他） |
| 印刷製本費 | 276,000 | | 276,000 | 548,533 | △ 272,533 | 施設広告宣伝費・ＷＥＢ運営費含む |
| 通信費 | 606,000 | | 606,000 | 516,421 | 89,579 | 通信運搬費 |
| 使用料及び賃借料 | 1,148,000 | 0 | 1,148,000 | 1,170,380 | △ 22,380 | |
| 横浜市への支払分 | 918,000 | | 918,000 | 803,172 | 114,828 | 目的外利用料 |
| その他 | 230,000 | | 230,000 | 367,208 | △ 137,208 | コピー機等ＯＡ機器賃借料 |
| 備品購入費 | 41,000 | | 41,000 | 1,978,620 | △ 1,937,620 | 事務所改修費用（受託財産） |
| 図書購入費 | 153,000 | | 153,000 | 35,000 | 118,000 | 資料収集 |
| 施設賠償責任保険 | 300,000 | | 300,000 | 46,078 | 253,922 | 施設賠償責任保険および動産保険 |
| 職員等研修費 | 10,000 | | 10,000 | 8,000 | 2,000 | |
| 振込手数料 | 66,000 | | 66,000 | 49,968 | 16,032 | 事業の振込手数料を含む |
| リース料 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 手数料 | 375,000 | | 375,000 | 220,553 | 154,447 | 銀行集金手数料・粗大ゴミ処理手数料 |
| 会費等 | 40,000 | | 40,000 | 33,000 | 7,000 | 神奈川県博物館協会、全国文学館協議会 |
| 事業費 | 3,790,000 | 0 | 3,790,000 | 4,092,873 | △ 302,873 | |
| 自主事業費 | 3,790,000 | | 3,790,000 | 4,092,873 | △ 302,873 | |
| 管理費 | 6,861,000 | 0 | 6,861,000 | 6,409,593 | 451,407 | |
| 光熱水費 | 1,422,000 | 0 | 1,422,000 | 1,255,455 | 166,545 | |
| 電気料金 | 1,240,000 | | 1,240,000 | 1,032,244 | 207,756 | |
| ガス料金 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 水道料金 | 182,000 | | 182,000 | 223,211 | △ 41,211 | |
| 清掃費 | 2,190,000 | | 2,190,000 | 1,973,800 | 216,200 | |
| 修繕費 | 830,000 | | 830,000 | 762,556 | 67,444 | 収蔵品修復費を含む |
| 機械警備費 | 606,000 | | 606,000 | 398,940 | 207,060 | |
| 設備保全費 | 1,813,000 | 0 | 1,813,000 | 2,018,842 | △ 205,842 | |
| 空調衛生設備保守 | 470,000 | | 470,000 | 464,340 | 5,660 | |
| 消防設備保守 | 119,000 | | 119,000 | 152,600 | △ 33,600 | |
| 電気設備保守 | 149,000 | | 149,000 | 148,458 | 542 | |
| 害虫駆除清掃保守 | 295,000 | | 295,000 | 410,724 | △ 115,724 | 防塵防黴施工2回 |
| 駐車場設備保全費 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| その他保全費 | 780,000 | | 780,000 | 842,720 | △ 62,720 | 館内装花、VOC測定及びＰＣ消去・設定 |
| 共益費 | | | 0 | 0 | 0 | |
| 公租公課 | 2,868,000 | 0 | 2,868,000 | 3,350,450 | △ 482,450 | |
| 事業所税 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 消費税 | 2,863,000 | | 2,863,000 | 3,346,800 | △ 483,800 | |
| 印紙税 | 5,000 | | 5,000 | 3,650 | 1,350 | |
| その他（　　） | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 事務経費　（計算根拠を説明欄に記載） | 3,212,000 | 0 | 3,212,000 | 3,212,000 | 0 | |
| 本部分 | 3,212,000 | | 3,212,000 | 3,212,000 | 0 | 事務局積算による数値 |
| 当該施設分 | 0 | | 0 | 0 | 0 | |
| 支出合計 | 58,359,000 | 0 | 58,359,000 | 59,173,201 | △ 814,201 | |
| 差引 | 0 | 0 | 0 | 255,000 | △ 255,000 | |